

二七 烏山御城請取人数初中後勤方の覚書（「喜多山源治家文書」）

大久保氏が烏山城を請け取った際の家臣たちの勤め方分担が記される。

（表紙ウハ書）

「 享保十一 丙午年

烏山御城請取人数初中後

勤方之覚

三月

壹番立 三月四日出立

同 七日烏山着

（中略）

二番立 三月九日立

同 十二日烏山着

（中略）

三番立 三月十二日出立

同 十五日烏山着

（中略）

烏山御城請取人数手配之覚

一、追手番所 物頭 深尾左源治

給人 黒田貞右衛門

足軽小頭老人 足軽手明老人

御幕 片長持入 下番老人 中間老人

御鉄炮 五挺 足軽五人

御弓 三張 同 三人

御長柄 五本 長柄之者五人

矢箱 壹荷 中間老人

玉箱 壹荷 同 老人

三道具 壹組 棒 五本 灯燈台 二 松明 五本 早繩 三筋

右五色ハ御番所附渡り

一、神長口 給人 武内藤兵衛

足軽小頭老人 足軽老人 下番老人

鉄炮 二挺 足軽二人

弓 一張 同 一人

長柄 三本 長柄之者三人

幕 片 中間老人

三道具一組 棒三本 灯燈台二 松明五本 早繩三筋

右五色ハ御番所附渡り

一、滝田口 給人 加藤与右衛門

足軽小頭老人 足軽老人 下番老人

鉄炮 二挺 足軽二人

弓 一張 同一人

長柄 三本 長柄之者三人

幕 片 中間一人

三道具一組 棒三本 灯燈台二 松明五本 早繩三筋

右五色ハ御番所附渡り

一、釜ヶ入口 給人 岡山伴助

足軽老人 下番老人 鉄炮二挺 足軽二人

弓 老張 足軽老人 三道具一組

棒 二本 松明三本 早繩三筋

右四色ハ御番所附渡り

一、七曲口 給人 関口庄蔵

足軽一人 下番一人 鉄炮二挺 足軽二人

弓 一張 足軽一人

三道具一組 棒二本 松明三本 早繩二筋

右四色ハ御番所附渡り

一、車橋 給人 宮代茂兵衛

足軽二人 下番一人 鉄炮二挺 足軽二人

弓 一張 同一人

三道具一組 棒二本 松明三本 早繩二筋

右四色ハ御番所附渡り

一、桜門 足軽二人 下番一人

一、井戸沢口 給人 大嶋忠左衛門

足軽一人 下番一人 鉄炮二挺 足軽二人

弓 一張 足軽一人 三道具一組 棒二本

松明三本 早繩二筋

右四色ハ御番所附渡り

一、十二曲口 足軽一人 下番一人

一、煙硝蔵前 足軽一人 下番一人

鉄炮一挺 足軽一人 弓一張 足軽一人

三道具一組 棒三本 松明二本 早繩二筋

右四色ハ御番所附渡り

一、御本丸前 足軽一人 下番一人

鉄炮二挺 足軽二人

三道具一組 棒三本 松明二本 早繩二筋

右四色ハ御番所附渡り御立願の状

一、北町口 足軽一人

一、御本丸御広間 物頭 平井源太夫

徒 栗田甚介

一、三ノ丸御広間 番頭 山崎治部左衛門

給人河合半太夫 同福井弥藤次

徒 川口安兵衛

一、同所表御門 足輕二人 下番一人

棒 二本 此方ヨリ出ス

一、同所裏 御門足輕一人 下番一人

棒一本 此方ヨリ出ス

一、同所御勝手詰御家老 平野清左衛門

堀越多宮 御用人吉田勘四郎

寺社町奉行小嶋安太夫 郡奉行三上林右衛門

大目付村野源五 医師津田立意

御中小姓平野弥助・吉田治助・田中新助

御用部屋御家老附伊能助右衛門・越山番右衛門

賄方岸九兵衛 料理人船曳作右衛門

勘定方書役原清次郎・池谷源六

坊主足立閑竹 下目付一人 働中間三人

一、会所門 足輕一人 下番一人

棒二本 此方ヨリ出ス

一、太鼓楼 大塚源兵衛 中間一人

一、下台所口 足輕一人

一、作事小屋 御城番徒 大原五太夫

同心一人 中間一人

一、厩 御中小姓 沢代蔵

御厩小頭 七兵衛 御中間小頭忠左衛門

一、牢屋敷 足輕一人

一、牢長屋脇門 足輕一人

一、高札建替 普請方大石安右衛門

(下略)

【補注】

この覚書には大久保氏が享保十一年三月に前藩主稲垣氏から烏山城を
請け取った際に、当時あった城地の名称が記されており興味深い。